

製品のお買い上げにあたって

ローパーティション

■KIパネル／TFパネル共通 直線レイアウト制限

- パネルを直線に設置する場合には、転倒を防止するため、図40～図45に示す条件を守ってください。控えパネルは、幅600mm以上でかつ直線パネルとの高さの差が500mm以下のものを採用してください。

☆什器の配置や躯体の仕様によっては制限の範囲が異なります。

制限範囲を超えたレイアウトに関して事故などが生じた場合は、保証対象外となります。

- ドアパネルの壁への直接固定はできません。

-----:ブックシェルフ取付可能位置(フック取付推奨位置)

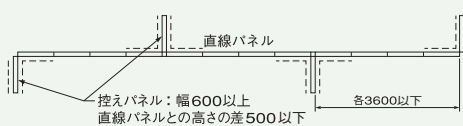


図40 両側控え

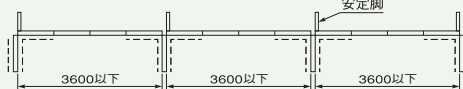


図41 片側控え+片側安定脚

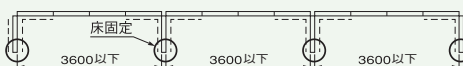


図42 (高さ1250を超えるもの) 全控えパネル床固定要



図43 (高さ1250以下に限る) (控えパネル幅450以上)

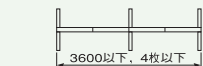
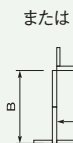
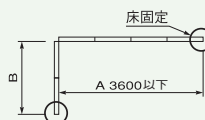


図44-1

片側一端控え(L型)
エンドパネル部は床固定要
 $B=A/2$ 以上

図44-2

床固定できない場合は、エンド部両端に両側安定脚、コーナー部の長手側パネルの外側に片側安定脚要。
パネルを3枚以上連結して使用する場合は、2枚につき1個外側へ片側安定脚を付ける

図45

両側安定脚(高さ1600以下およびパネル数4枚以下に限る)パネル2枚ごとに1対の安定脚を付ける
※ガラスパネル・コンビパネルを含む場合は安定脚のみの自立は不可

■LFシリーズ／KIパネル／TFパネル共通 ドアパネルレイアウト制限

- パネルを直線に設置する場合には、転倒を防止するため、図46～図49に示す条件を守ってください。控えパネルは、幅600mm以上でかつ直線パネルとの高さの差が500mm以下のものを採用してください。

☆什器の配置や躯体の仕様によっては制限の範囲が異なります。

制限範囲を超えたレイアウトに関して事故などが生じた場合は、保証対象外となります。



図46
両側控え

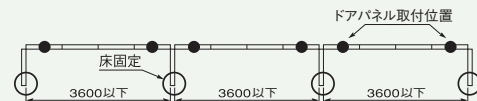


図47
全控えパネル
床固定要

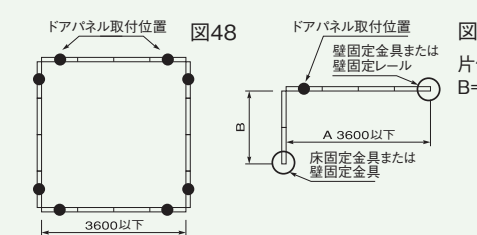


図48
片側一端控え(L型)
 $B=A/2$ 以上

注)ドアパネルは必ずコーナー部に設置してください。ドアパネル本体下には必ず床固定(アンカー留め)などの施工をしてください。上記レイアウト制限に準じて設置した場合でも、パネルのぐらつき防止として安定脚などの併用をおすすめします。

■TFパネル スライドドア レイアウト制限

- パネルを直線に設置する場合には、転倒を防止するため、図50～図53に示す条件を守ってください。控えパネルは幅600mm以上でかつ直線パネルと同じ高さのものを採用してください。

- 段差連結レイアウトはできません。

- スライドドアの隣に必ず幅1200mmのクロスパネル、またはスチールパネルを採用してください。

- 直線パネルには、ガラスパネルのレイアウトはできません。

☆什器の配置や躯体の仕様によっては制限の範囲が異なります。制限範囲を超えたレイアウトに関して事故などが生じた場合は、保証対象外となります。

- ドアパネルの壁への直接固定はできません。

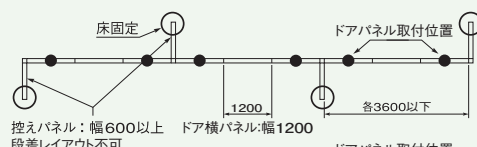


図50
両側控え

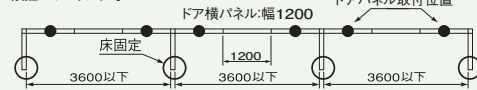


図51
全控えパネル
床固定要

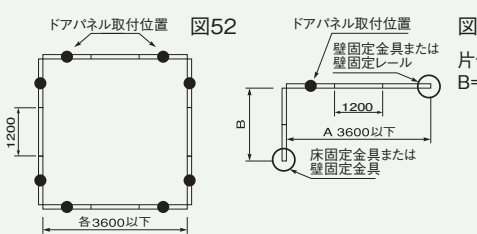


図52
片側一端控え(L型)
 $B=A/2$ 以上

注)スライドドアは必ずコーナー部に設置してください。スライドドア本体下には必ず床固定(アンカー留め)などの施工をしてください。上記レイアウト制限に準じて設置した場合でも、パネルのぐらつき防止として安定脚などの併用をおすすめします。

NEWMAL

■フォールディングテーブルとの組合せ制限

ニューマルの肘部がフォールディングテーブルの折りたたみ操作レバーに干渉するため組合せには以下の制限があります。

	ルアルコ H720	リネロ2/3 H720	リネロ2 H700	YF H720	MF-J H700	QF H700
NEWMALナイロンキャスター	○	○	×	×	×	×
NEWMALウレタンキャスター	×	×	×	×	×	×

組合せ時の脚数制限

W2100:3脚まで W1800・W1500:2脚まで W1200:1脚まで